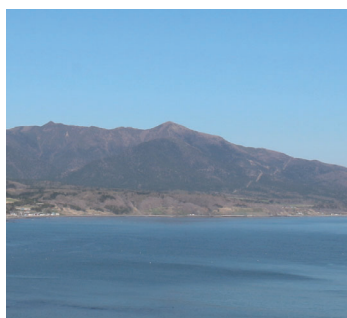


平成29年度・施政方針

今年度はどのような方針で、まちづくりを行っていくのか、3月の町議会定例会で示された、施政方針をお知らせします。



アポイ岳

はじめに

平成29年度様似町一般会計予算などのご審議をいただく町議会の開会にあたり、町政執行の所信を申し述べさせていただきます。

ここに新年度を迎えるとともに、町政を担わせていただき、今期の最終年に入っておりますので、これまでの町政執行に対する議員並びに町民皆様のご協力にあためて感謝申し上げますとともに、新年度における各施策の推進に特段のご理解とご協力をお願い申し上げます。



町長 坂下一幸

昨年は、一部の地域において、気象異変や台風などによって、家庭生活や事業活動に大きな被害が発生しましたが、あらためて被害にあわれた皆様に心からお見舞い申し上げます。

様似町は本年、開基215年、町制施行65周年を迎えますが、深刻化する人口減少などにより、先行き不透明な時代が続く中でも、産業の持続性を高め、交流人口等を増加させ、環境・教育・保健・福祉・医療など万全を期していくためには、これまで行われてきた施策以外に、新しい種をまく取り組みも必要であり、それも行政だけでなく、町総ぐるみで取り組まなければ、将来本当に消滅自治体になりかねません。

まちづくりは人づくり、地域を変えるのは人であり町民皆様

ただくことで、都市部とは著しい格差があり、小さく脆弱なまちであっても、隣の人の顔が見え、互いに助け合い、工夫し合うことで、町として持続が可能になると考えています。

昨年、安倍総理は「一億総活躍社会の実現を目的とする「強い経済」「夢を紡ぐ子育て支援」「安心につながる社会保障」の「新三本の矢」を発表し、新年度からその政策が動き始めることとなりますが、地方への影響は不透明な状況にあります。

町の未来に可能性をもたらす大きなチャンスと捉えている「アポイ岳ユネスコ世界ジオパーク」と、開設後1年が経過し、さらなる成果が求められる「様似町東京事務所」がありま

本町においても少子高齢化が進み、人口減少による人手不足が課題となっており、産業分野や福祉分野などに与える影響が危惧されています。

また、今後は人口減少に伴う町税や地方交付税の減少、給水人口の減少が水道事業経営に与える影響、公共施設の老朽化に伴う改築や維持補修、学校給食問題などの課題も山積しており、さらなる財政収支のバランスを見据えつつ、引き続き国などの制度を模索するなど健全で安定した財政運営に努めてまいります。

また、移住定住対策については、様似町東京事務所を開設して1年が経過しましたが、定期的な説明会を開催するほか、各種移住・定住イベント等に積極的に参加し、移住定住に興味のあるかたがたに対し、様似町のPRを図ってまいります。

また、昨年移住体験住宅3戸

を整備し、受け入れを開始しましたが、昨年度の利用者は5名で、うち1名は既に町内に定住し、新年度は現在13名のかたから予約が入っている状況で、利用されるかたがたに対し、生活体験メニュー等を構築する計画で、新たな定住者になつていただければと思っております。

算において希望された使途に基づき各種事業へ充当させていただいたところでありま

ふるさと納税においては、28年度の目標寄付額を1億円としていましたが、現状その達成は難しい状況となっておりま

様似町は本年、開基215年、町制施行65周年を迎えますが、5年後の開基220年、町制施行70周年に向け、新年度から様似町史の編纂(へんさん)に向けその準備に入る

ふるさと納税でいただきました寄付金については、新年度予



親子岩ふれ愛ビーチ

山と海に恵まれた本町は、「アポイ山麓ファミリパーク」「親子岩ふれ愛ビーチ」をはじめ、春の花の観賞地となっている「観音山」や「エンルム岬」などには、多くの町民や観光客が訪れており、より多くのかたがたに楽しんでいただくため、施設・設備等の改修や環境整備を計画的に進めてまいります。

また、本町のシンボルでもある「アポイ岳」の貴重な動植物を保全するため、有識者で構成する「ア

個人住宅については、住宅の新築及びリフォームを対象とした補助制度を継続し、住環境整備及び

■推進体制の確立のために

…主な取り組み

- ▼健全で安定した財政運営
…財政収支のバランスを図り、国などの制度を活用
- ▼アポイ岳ユネスコ世界ジオパークによるまちづくり
…地質・自然・文化遺産の保全、教育・観光の振興など多岐にわたる施策を推進
- ▼移住定住対策
…様似町東京事務所を活用したPR、移住体験メニュー構築
- ▼ふるさと納税事業の継続
- ▼新たな様似町史の編纂準備開始
- ▼地域おこし協力隊
…活動期間中やその後の定住化を支援

■住みよい環境をつくるために

…主な取り組み

- ▼自然環境の保全・活用
…施設・設備等の計画的な環境整備
- ▼住宅の整備
…西町第2団地公営住宅の建て替え事業
…個人住宅の新築等を対象にした補助制度の継続
- ▼子育てに対する支援
…乳幼児から中学生までの医療費の無料化を継続
- ▼上下水道の整備
…施設の計画的な改修・修繕と更新に取り組み、安心・安全な給水体制の継続と施設の長寿命化を図る
- ▼浄化槽設置整備事業の推進
- ▼し尿処理
…MICS事業(污水处理施設共同整備事業)の推進
- ▼ごみ処理事業
…クリーンセンターの計画的な改修・整備
…一般社団法人様似町衛生協会との連携
…最終処分場広域化事業開始の準備

2 住みよい環境をつくるために

地域おこし協力隊については、新年度においても、新たな分野での募集を行うとともに、隊員の募集及び研修並びに活動

期間中やその後の定住化について、支援業務を外部委託し、円滑な事業の推進を図ってまいります。

本町の経済の活性化に支援をしてまいります。

子育て世帯の負担軽減と安心して必要な医療が受けられるよう乳幼児から中学生までの医療費の無料化を継続いたします。

水道事業については、老朽化する施設更新及び維持管理費用の財源確保、また、公営企業としての健全経営を見据えた対応が課題となつていますが、今年度から簡易水道事業等に対する一般会計からの繰り入れを行い、安定した財源を確保する中で、施設の計画的な改修と更新に取り組み、給水機能の安定確保を図り、将来にわたつて安心・安全な水の供給体制を継続できるよう努めてまいります。

下水道事業については、中期ビジョンに基づき、長期的かつ計画

的な施設の修繕・更新を進め、施設の長寿命を図っておりますが、財政運営では、公営企業会計化といった制度改正を見据え、健全経営に向けた取り組みを進めてまいります。

また、公共下水道区域外については、水環境の維持改善と快適な生活環境に必要な不可欠な浄化槽の普及促進を図るため、浄化槽の新規設置者に対し、浄化槽設置整備事業を引き続き推進し、生活排水対策を進めてまいります。

し尿処理については、日高東部衛生組合において、MICS事業（汚水処理施設共同整備事業）に移行するための、受け入れ処理場の能力評価の結果、浦河町の下水道処理施設で日高東部3町のし尿処理が可能であるとの判断が示されました。

今後は、平成34年度の移行を目指し、日高東部衛生組合の構成町としてMICS事業を推進したいと考えています。

クリーンセンターについては、施設・設備等の改修整備を計画的に行い、稼働に支障のないよう維持管理に努めるとともに、今後においても一般社団法人様似町衛生協会と連携し、本町の一般廃棄物の収集・運搬、処理事業の適正な

業務体制の維持を図り、住みよい環境づくりに努めてまいります。

また、最終処分場については、近隣町との広域化を円滑に進める

3 安全な生活をおくるために

ための基本意思書を締結し、受け入れ可能な一般廃棄物を平成30年度から搬入するための準備を進めてまいります。

本町における北海道が示した

津波の最大水位とその浸水予測は、ハードに頼った防災対策が困難なこと及び本町には土砂災害の危険箇所が多くあり、既に鶴岡・朝日丘・冬島・幌満の各地区において警戒区域が指定されているところですが、そのほとんどは、様似町単独で対策を講ずることが困難なことから、その対策について、国及び道に強く要望していくこととします。

災害発生時における被害の最小化を図るため、迅速な情報伝達手段として、特に国道閉鎖により孤立する幌満・旭地区の各戸に戸別受信機の整備を図り、確実な情報伝達に努めます。

また、昨年北海道を直撃した台風の影響により、町内の河川が氾濫し住宅被害が生じたことから、氾濫防止のための大型ポンプの整備や河川改修を行うなど、防減災の観点に立った取り

組みを推進することとします。平成28年度の火災発生状況は、1月末現在で建物火災1件の発生で、幸い人的被害はありませんでしたが、全国的には複数のかたが焼死する建物火災も発生しているため、一般住宅をはじめ各種防火対象物、危険物施設等への防火査察や啓発活動の推進を図るとともに、資機材搬送用の作業車を更新するなど、消防力の強化を図ってまいります。



交通安全運動の様子

救急処置ができるよう技術の向上を図るなど、救急業務の強化に努めてまいります。

本町は、海岸線に沿って集落が形成され、崖地を背後にする集落も多く、昨年度の度重なる台風の北海道への上陸や、近年多発している集中豪雨、高波、高潮などの災害から、地域住民の生命と財産を守るため、必要な河川管理施設及び海岸保全施設等の防災対策について、引き続き関係機関へ要請してまいります。

交通安全については、「様似町交通安全条例」の生命尊重の理念に基づき、町民一人ひとりの交通安全意識を高め、関係機関・団体と協働し、交通事故の

ない安全で快適なまちづくりの実現を目指してまいります。

防犯については、「様似町安全で住みよいまちづくり条例」に基づき、町と関係機関・団体に住民が一体となって防犯活動に積極的に取り組み、犯罪のない安全で明るい地域社会の実現に努めてまいります。

また、犯罪被害者等についても、国・道との役割分担のもと、その支援体制の充実にも努めてまいります。

空き家対策については、「空き家対策特別措置法」や「様似町空き家等の適正管理に関する条例」に即した対策を講じてまいります。

家屋所有者へは、老朽化した

■安全な生活をおくるために …主な取り組み

- ▼防災
…幌満・旭地区の各戸に防災無線個別受信機を整備
- ▼消防力・救急体制の強化
…資機材搬送用の作業車を更新、救急救命士を1名増員
- ▼交通安全
…町民一人ひとりの交通安全意識を高め、事故のない安全で快適なまちづくりの推進
- ▼防犯活動
…安全で明るい地域社会の実現、犯罪被害者支援体制の充実
- ▼空き家対策
…空き家等の適正管理に関する条例に沿った取り組み
…「空き家バンク」設置を推進

空き家の除却等の働きかけを行うとともに、入居可能な空き家の利活用を促進し、移住・定住

4 健康で幸せな生活をおくるために

感染症対策では、国で定めた定期の予防接種の正しい知識の普及・啓発を進めるとともに、予防接種業務に携わる医師や看護師の確保に努め、その環境を整え、接種率の向上に努めてまいります。

また、インフルエンザワクチンについては、子育て支援の観点からも、中学生以下の子どもに対し全額助成を継続するとともに、高齢者肺炎球菌ワクチンについても引き続き助成をしてまいります。

母子保健対策では、妊婦健康

対策の受け皿としての「空き家バンク」の設置を進めてまいります。

助成及び周産期医療通院費等の助成や不妊治療費の助成を継続するとともに、新たに新生児の聴覚検査を実施し、安心して出産、子育てができる環境を整えてまいります。

乳児家庭全戸訪問や養育支援訪問、児童の発達相談等については、医療・児童福祉機関及び幼児センター等の関係機関との連携を図るとともに、新たに5歳児健診を実施し、子どもの健康増進や子育て支援を推進して

まいります。

成人保健対策では、MRI脳検診や各種がん検診事業などを継続し、また、引き続き無料クーポン券の配付や受診勧奨、PR等を進め、受診率の向上に努めてまいります。

胃がんの主な原因であるピロリ菌の検査・除去について、昨年から中学生を対象に無償で実施することとしましたが、新年度では、新たに大人の胃の健康度を調べる健診を実施し、胃がんの予防に努めてまいります。糖尿病など生活習慣病の予防や早期発見のために、春と秋に40歳以上のかたを対象に特定健診やミニドックを実施していま

すが、健診率の向上のためのP

Rの強化や若い世代の健康意識の向上を図る20歳から40歳を対象にしたワンコイン健診の推進、健診後の生活改善指導や各種の健康教室、健康相談を通して町民の将来的な健康維持を図ってまいります。

歯科保健対策では、子どもの虫歯予防教室や成人歯科検診の実施のほか、幼稚園や小学校に出向いての指導を継続してまいります。

栄養改善事業では、昨年策定した食育計画に沿って、小学生から高齢者までの幅広い住民を対象とした料理教室の開催や食

に関わる実態調査を行うなど、食育の重要性について理解を深める取り組みを推進してまいり

ます。

本町の医療機関のうち、一般診療所の1医院は、本年4月から札幌市の恵和会西岡病院と統合して、現状の医療環境は確保されることとなりますが、診療体制は、現状と変わらず1名体制の中で、救急患者の受け入れ、休日診療、町内福祉施設の回診など、医師に係る負担は依然として大きいことから、派遣医師及び看護師に係る費用の助成を継続し、安心して暮らせるよう最大限の努力をしてまいります。

また、保健医療や介護の人材不足が深刻となっており、養成施設に修学するかたや町内に就職するかたに対する「修学・就



親子食育教室

■健康で幸せな生活をおくるために …主な取り組み

- ▼各種予防接種
…医師や看護師の確保、インフルエンザワクチン・高齢者肺炎球菌ワクチン助成
- ▼母子保健
…妊婦健康診査・周産期医療通院費等・不妊治療費助成
…新生児の聴覚検査、5歳児健診
- ▼成人保健対策
…MRI脳検診、各種がん検診、無料クーポン券の配付、中学生対象のピロリ菌の検査・除去
- ▼歯科保健
…むし歯予防教室、成人歯科検診の実施
- ▼栄養改善
…各年代対象料理教室の開催、食育の理解を深める取り組み
- ▼地域福祉・高齢者福祉・介護保険
…様似町社会福祉協議会や様似福祉会との緊密な連携
…「新しい総合事業」を推進、在宅医療・介護連携推進事業の取り組み、地域包括ケアシステムの構築
…地域見守り活動の充実
- ▼障がいのある人の福祉
…ノーマライゼーション理念の普及啓発の促進、地域生活支援事業の充実
- ▼アイヌの人たちの生活の安定向上
- ▼国民健康保険事業
…安定的な運営を目指し、医療費の適正化に努める
- ▼後期高齢者医療制度
…加入・収納事務の円滑な推進

業資金」貸付制度を継続するとともに、その周知を図り、人材確保に努めてまいります。

浦河赤十字病院は、日高圏域の地域センター病院及び災害拠点病院としての役割を担っていることから、引き続きその支援を図ってまいります。

本町における地域福祉・高齢者福祉を推進するために、「第2期類似町地域福祉計画・第5期類似町地域福祉実践計画」に基づき地域住民と行政、福祉機関や医療機関、民間事業者と連携を図りながら、福祉施策を推進してまいります。

特に、類似町社会福祉協議会や類似福祉会との連携が重要でありますので、引き続き連携を密にし、本町の福祉の充実に取り組みでまいります。

介護保険制度の改正で本年4月から移行する「新しい総合事業」を推進するためにも、住民主体の多様なサービスの提供やそれを担うボランティアの養成に引き続き取り組むとともに、認知症総合支援事業や、新たに在宅医療・介護連携推進事業に取り組みなど、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを最後まで続けられるよう「地域包括ケア

システム」の構築に努めてまいります。

また、高齢者の虐待防止や成年後見人制度利用支援事業を推進し、障がい者や認知症高齢者の権利擁護に努めてまいります。

現在関係機関や民間事業者の協力により、地域見守り協定を締結する中で、地域からの孤立死の防止に努めておりますが、さらにそのネットワークを広げ、地域における見守り活動を充実してまいります。

障がいのある人の福祉については、「障害者計画」及び「第4期障害者福祉計画」に沿って、地域社会の中で安心して暮らせる環境を確保するとともに、ノーマライゼーション理念の普及啓発を促進し、地域生活支援事業の充実を図ってまいります。

アイヌの人たちが、北海道の厳しい自然環境の中で培ってきた歴史と文化を継承するため、その保存活動を支援するとともに、引き続き国及び道の施策と連携を図り、アイヌの人たちの生活の安定向上に努めます。

国民健康保険事業については、急速に進む少子高齢化の中

経営安定・向上に努めるとともに、産地主導型で取り組んでいる「ホツカイドウ競馬」への支援を継続してまいります。

畜産業については、J A ひだか東農協での肉用牛黒毛和種の素牛生産が道内で有数の供給地となっており、近年市場での販売価格が高値で推移していることから、引き続き優良肉用繁殖素牛貸付制度の活用促進を図るとともに、本町で生まれた黒毛和種の素牛肥育を支援し、その食味の周知を図ってまいります。

町有牧野については、引き続き道営事業により草地基盤の整備を行い、生産性の高い基盤確保に努めてまいります。工事の実施にあたっては、関係機関・団体と十分協議をしながら進めてまいります。

林業については、森林は、地球の温暖化防止を含めた多様な公益的機能を持つており、これらの機能は、森林整備や保全によって維持されていますので、今後も「類似町森林整備計画」に基づいた各種施策を計画的に実施し、森林の有する多目的機能を高度に発揮させるための健全な森林資源の維持増進を図

で安定的な運営を目指すため、国民健康保険法が改正され、平成30年度から市町村と都道府県が共同運営することとし、財政運営の責任主体は都道府県が担うこととなり、現状の厳しい経済情勢の中で、自主財源を確保するため、常に収納率の向上が求められることとなります。

今後においても、流行性疾患などの発生により、医療費の急激な増加も考えられ、常に不安定な財政運営ではありますが、収支の均衡を図られるよう引き続き医療費の適正化と財源の確保に努めてまいります。

後期高齢者医療制度については、その内容について対象者への周知を図り、制度の理解を求めるとともに、加入事務及び収納事務の円滑な推進に努めてまいります。



介護予防ボランティア
養成講座

り、豊かな森づくりに取り組んでまいります。

昨年は、度重なる豪雨により、奥地林地松岡奥新富線などの林地に多大な被害が発生し、その機能が停滞していますので、国の災害復旧事業を活用し早期復旧に努めるとともに、国道閉鎖時の迂回路も兼ねる「森林管理道西冬島線」の、平成31年完成を目指し引き続き整備を進めてまいります。

ひだか南森林組合が整備した「木質バイオマス発電用チップ生産施設」の稼働により、未利用だった林地残材が有効に活用され、森林環境保全、循環型社会の構築に大きく貢献しているところですが、町有林の間伐や主伐事業等で発生する林地残材についても、計画的な搬出をしてまいります。

エゾシカ対策については、これまでの駆除対策により、全道的には減少傾向にあります。今後とも猟友会の理解と協力をいただき、積極的な有害駆除対策を進めるとともに、高齢化が進むハンター及び担い手対策として、ハンター免許取得助成、猟友会の活動支援を継続し、町外からのハンターの受け入れな

5 心豊かな人間性を養うために

法律の改正に伴い、平成27年度から町長と教育委員会が協議・調整する場として、総合教育会議を設置し、その中で平成28年度から5年間の教育に関する総合的な施策の「教育大綱」

6 豊かな暮らしを生みだすために

アメリカ新政権のTPP協定（環太平洋経済連携協定）からの離脱指示に伴い、今後TPPに代わる二国間交渉が進んだ場合、これまでの合意事項より関税率や関税品目のさらなる譲歩が求められる可能性があることから、今後も引き続き国の動向を注視し、北海道や関係機関とも連携を図り対応してまいります。

農業については、生産基盤の脆弱さなどから、生産性が低迷する状況下にありますので、平成27年度から実施している道営事業・中山間地域総合整備事業により、ほ場整備や暗渠排水、客土等を進め、農業の生産基盤である農地の条件整備を引き続き推進してまいります。

ど、猟友会と連携を図り担い手の確保に努めてまいります。

水産業については、一昨年豊漁だった秋サケとスケトウダラが不漁に転じ、漁獲量で前年比80%と落ち込みましたが、秋サケやスルメイカが全道的な不漁により、魚価が高騰したため、漁獲高では前年比97%の約30億1300万円となりました。

依然として資材や燃料の高騰等により、漁獲コストが上昇するなど厳しい経営状況にあるため、沿岸漁場保全事業や雑海藻駆除事業など、経営安定のための各種振興策の計画的な支援対策を関係機関・団体とともに推進してまいります。

漁業経営者の高齢化や新規就漁者の減少が続く中、後継者等の確保対策が課題となっていますので、漁業後継者及び新規就漁者への支援を図るなど、関係団体等との連携を密にし、後継者の確保に努めてまいります。

衛生管理型漁港及び水産物の生産拠点としての機能が求められていた、日高中央漁協様似支所の荷捌所及び関連施設の建設工事は、本年7月末の完成を予定していますが、引き続きその

を定め、町長と教育委員会が連帯して教育行政の責任を負うこととして進めており、これまで以上に緊密な連携を図り、時代の変化に対応した教育行政の推進に努めてまいります。

また、後継者や担い手不足などから、農地が流動化せず遊休化する農地の増加が懸念され、土地利用型として本町で可能な農業を見いだすことが重要な課題となっているため、一昨年から試験的に薬草の「トウキ」の栽培に取り組んでいます。試験結果では、他地域に比べ良質の物が収穫できることが実証されましたので、他の品種を含め引き続き試験栽培を進めるとともに、栽培農家等の増加を目指してまいります。

施設園芸の夏秋採りイチゴ栽培は、町外からの就業希望者が多いため、移住促進も視野に入れた事業展開を図ってまいります。

新年度において、新規就農予

支援を図ってまいります。

また、生産拠点となる漁港の整備については、事業が計画どおり円滑に整備促進されるよう、引き続き関係機関等への要請活動を継続してまいります。「日高昆布フォーラム」は、これまで日高昆布の素晴らしさを情報発信し、広く周知を図ってきたところであり、新年度も支援をしてまいります。第10回目を迎えることとなりますので、今後のあり方等を含めて関係機関や団体と協議をしてまいります。

商工業につきましては、人口減少による購買力の低下やネット販売の普及による影響など、消費者ニーズや購買行動の変化に対応した経営が必要となることから、商工会が進める「経営発達



地場産フェア

支援計画」の具現化を目指し、今後の商工業のあり方など十分に検討することし、引き続き金融支援対策や設備投資資金への利子補給等の支援を続けてまいります。

また、町外に流出する購買力を食い止めるため、引き続きプレミアム付き商品券の発行や歳末大売り出しなどの町内での消費喚起事業を支援し、地元特産物を活用した土産品や六次産業化による特産品開発など、商工会や関係団体と連携しながら推進してまいります。

本町の経済を支え、雇用の場として大きな役割を果たしてい

る工業及び製造業については、今後とも雇用の維持、創出に期待するものであり、関係機関や団体などの活動を通じ、就労促進や雇用の確保、技術の向上等、商工会と連携を図り、その支援に努めてまいります。

観光については、本町の最大の魅力である豊かな自然と優れた景観をはじめ、歴史的価値や学術的価値の高い豊富な観光資源を、アポイ岳ユネスコ世界ジオパークのブランド力を活用しながら、エコツーリズムやジオツーリズムなどによる魅力的な教育・観光プランを提供するため、体験プログラムの開発や地

■豊かな暮らしを生み出すために …主な取り組み

- ▼農業の振興
 - …様似町東京事務所と連携した就農促進
 - …イチゴ選果場整備の支援
 - …優良肉用繁殖素牛貸付制度
- ▼林業の振興
 - …森林資源の維持増進・林道の整備
 - …エゾシカ等有害鳥獣駆除対策事業
- ▼水産業の振興
 - …漁業後継者・新規就漁者支援
 - …雑海藻等駆除事業等支援
 - …日高中央漁業協同組合様似支所荷捌所等施設の整備支援
 - …「日高昆布フォーラム」支援
- ▼商工振興
 - …地域商品券事業補助
- ▼観光資源の開発・ＰＲ活動
 - …アポイ岳ユネスコ世界ジオパークのブランド力を活用
 - …「日高王国」事業の強化
 - …各種行事・イベント助成

豊かな心 生きがいのある人生を

教育行政執行方針

はじめに

平成29年度を迎えるにあたり、新年度の様似町教育行政執行方針について申し上げますので、ご理解とご協力を賜りたいと存じます。

現在、我が国は急激な人口減少や少子高齢化に加え、昨今のグローバル化や情報通信技術の発達などが教育をはじめとする社会生活の様々な分野に変化をもたらしている中、地域の発展を支える教育の役割が益々重要となっております。

教育の分野においても改革が



教育長 荒木輝明

進められ、町長と教育委員会の協議・調整の場として総合教育会議を開催し、昨年2月に策定した平成28年度から5年間を期間とする「様似町教育大綱」の基本理念である「豊かな心と確かな学力を育む地域と連携した教育・文化のまち」に基づき、時代の変化に対応した教育施策を展開してまいります。

本町の教育においては、子どもたちの学力や体力、生活習慣の問題など、様々な課題への対応が求められております。

各学校においては、全国学力・学習状況調査の結果を踏まえ、基礎・基本の確実な定着や活用力の向上を図るため、学ぶ意欲を高める授業づくりに取り組んでいるところでありますが、さらなる学力向上の対策として、引き続き授業内容の理解定着や家庭学習の充実などを進める「学校改善プラン」の推進に全学校で取り組みます。

本町が持続的に発展していく

元食材の積極的活用にも努めるとともに、受け入れ体制の整備と四町広域宣伝協議会との連携を図りながら、積極的なＰＲ活動を展開してまいります。

修学旅行生を受け入れている「日高王国」は、安定した要望があり、昨年は、関西や九州の高等学校から約400人が訪れ、そのうち本町では96人を受け入れています。

新年度以降においても継続した予約が入っておりますが、今後関係機関との連携を図り、受け入れ家庭の拡充と実施体制の強化に努めてまいります。

交流人口の拡大や本町並びに日高地域の知名度アップを図るため、近隣町や関係団体と連携し、道内外で開かれる各種イベントや物産展等に積極的に参加し、販路拡大や本町のＰＲ活動を展開してまいります。

イベントでは、恒例行事となった「第8回さまにウニまつり」や伝統ある「第47回アポイの火まつり」などのＰＲ活動を強化し、町民をはじめ多くの来訪者に楽しんでもらえるよう、その支援や協力体制を整えてまいります。

交流促進施設「アポイ山荘」

ためには、「未来への先行投資」である教育の充実を図り、本町の将来を担う人材の育成が最も重要な課題であり、町民全体で子どもたちが夢や希望を実現できるよう支えていく幼児教育から学校教育までの連携した体制づくりが必要です。

様似町の優れた自然や歴史を含めた貴重な文化は、教育の営みを通してしっかりと次代に伝え、より豊かなものへと発展していくものとして、その維持・継承は教育の使命といえます。

豊かな心を育てる幼児教育、他者を思いやり、命を大切に自らを高める学校教育、生きがいのある人生を築くための社会教育及び体育・スポーツと図書館活動の推進を図り、生涯学習のさらなる充実をめざしてまいります。

それでは、各分野における主要な方針について申し上げます。

幼児教育及び児童福祉の推進

乳幼児期における保育及び教育は、子どもの健全な心身の発達段階に応じた保育環境のもと、心豊かな人間として生きていく

は、町民の福祉と公衆浴場機能を併せ持つ浴場部門の維持管理費が経営を圧迫している状況が続いていることから、指定管理委託料を増額することとし、各部門での経営改善策を着実に実

7 発展の基盤づくりのために

町道の維持管理については、日常の利便性や快適性の確保に努め、点検・補修を継続し、雨水対策としての河川管理施設や排水溝の点検・改修も含め、引き続きより効率的な維持管理に努めるとともに、河川管理施設や排水施設の整備を継続し、大雨等による被害防止対策を図ってまいります。

また、道路施設の老朽化対策として、橋梁の長寿命化計画

■ むすび

平成29年度の町政運営に臨み、その所信を申し述べましたが、依然として厳しい経済状況が続いており、先行きが不透明で不安定ではありますが、第8次様似町総合計画に基づき、町民の皆様と共に考え、共に汗しながら、身の丈にあった行財政

行し、効率化とサービスの向上に努めていただくとともに、施設・設備の老朽化に伴う改修など、今後の運営のあり方等について、検討してまいりたいと考えております。

に基づき、橋梁補修事業を進めるとともに、新たに5年に1度の近接目視による橋梁の定期点検を実施し、その結果に基づいた措置を進めてまいります。

なお、塩釜トンネルについては、国により注意喚起用設備及び歩道整備が実施されましたが、通行車両の抜本的な事故防止対策について、引き続き関係機関へ要請してまいります。

運営に努め、職員一丸となつて諸問題の解決に取り組んでまいります。

町議会議員の皆様、並びに町民の皆様とのさらなるご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

ための基礎となる「生きる力」や学習能力の基本となる「学びに向かう力」を着実につける取り組みを進めてまいります。

また、子どもの発達や学びの連続性を図るために、小学校との円滑な接続について、教師間の連携を密にするとともに、子どもたちの交流や小学校での体験活動を充実させてまいります。

様似町に生まれ育つ子どもたちが、様似の自然に触れ、地域のかたがたとのふれあいの中で豊かな心と郷土愛を育むとともに、グローバル社会に対応した

■幼児教育及び児童福祉の推進…主な取り組み

- ▼幼児保育・教育
 - …JETプログラムによる国際交流員（CIR）を招致し、3歳～5歳児への英会話
 - …幼児センター・子育て支援センター事業の充実、放課後児童施設「ひ・ま・わ・り」での児童健全育成

■学校教育の推進…主な取り組み

- ▼小学校・中学校
 - …教員の追加配置、臨時教職員の配置、学生ボランティア等の積極活用によるきめ細やかな教育指導
 - …小中学校の連携・一貫教育の推進
 - …コミュニティ・スクール（学校運営協議会）の推進
 - …英語指導助手を活用した英語力の底上げとグローバル社会に生きる児童生徒の育成
 - …知的学級・情緒学級・言語学級を開設し、特別支援教育体制を充実

学校教育の推進

急速に激しく変貌する社会の中で、児童生徒が心豊かな人間性を養うために、より質の高い教育環境づくりに努めてまいります。

学力の向上につきましては、「全国学力・学習状況調査」と「標準学力検査」の結果から、基礎・基本の習得や知識をはじめ、技能の活用及び応用や生活習慣に課題が見られることから、きめ細やかな教育指導を行うため、道教委の教員加配をはじめ授業改善推進チーム事業などを活用するとともに、引き続き各学校に町採用の臨時教職員を配置し、複数の教員によるチームティーチングや習熟度別指導を柱に、学習指導体制の充実を図るほか、



学生ボランティア活用事業

ICT教育の環境整備として、子どもたちの学習に対する意欲や関心を高め、より効果的な授業が展開できるよう、小・中学校の各普通教室への電子黒板の設置や夏冬の長期休業中における学生ボランティアによる学習サポート事業などの積極的活用を推進してまいります。

また、学力向上には学校での授業のほか、家庭における学習活動も重要なことから、インターネットで提供される学習支援ソフトを活用し、苦手教科等を繰り返し学習できる環境整備を図り、学校と家庭が一体となった取り組みをめざしてまいります。

平成28年度から進めてまいりました小中連携・一貫教育につきましては、小・中学校の9年間を見通したカリキュラムの作成を各教科で進め、その系統性を全教職員が共有し、小・中学校合同の研修やプランづくりを行うことにより、指導計画や指導方法の改善・充実を図られるよう推進してまいります。

コミュニティ・スクールにつきましては、平成28・29年度を準備期間とし、地域や保護者が学校運営に参画し、学校・家庭・

地域が一体となって、より良い教育の実現のために、平成30年度からスタートする「学校運営協議会」の組織化に向け、その準備を進めてまいります。

地域資源となるジオパークを活用した教育につきましては、ふるさと様子を学ぶ学習として、各学年に配慮した授業内容と継続性のある学習の体系化を整理し推進してまいります。

各学校の教育目標を達成するため、教職員の指導力向上に向けた校内研修の充実や積極的な各種研究会などへの参加を奨励するために引き続き支援を図ってまいります。

英語指導につきましては、これまでの2名の英語指導助手を効果的に活用し、小学校・中学校への派遣を通して英語力の底上げを図るとともに、コミュニケーション能力や異文化への理解を深め、グローバル社会に生きる子どもへの育成に努めてまいります。

特別支援教育につきましては、小学校ではこれまでの知的学級と情緒学級のほかに新たに言語学級を開設し、中学校におきましても情緒学級のほか新たに知的学級を開設することで、児童

生徒一人ひとりに応じた学習・生活の支援に努め、円滑な教育体制の充実を図ってまいります。児童生徒指導につきましては、規範意識や倫理観、生命の大切さや他人を思いやる心を育み、学校、家庭、地域、関係機関との連携により児童生徒の健全育成と意識高揚を図ってまいります。

社会教育の推進

町民が心豊かな生活を送り、住みよいまちづくりにつなぐことができるようそれぞれの興味・関心をとらえ、多様な学習機会の提供や町民の自主的な社会教育活動の支援をしてまいります。

また、社会教育事業の中核となる各施設を効果的に活用し、体験的な学習活動を推進してまいります。

少年教育につきましては、ユネスコ世界ジオパークに認定された本町の特色ある自然・歴史・文化といった地域の教育資源を活かした体験活動を通して、規範意識や自主性、愛郷心を育み、豊かな人間性の育成を図ります。

また、地域の人材を活かし、学校教育活動を地域で支えるた

め、学校支援ボランティアや小学校高学年の児童を対象にした「放課後子ども教室」等を行う「学校・家庭・地域連携協力推進事業」については、さらに充実した取り組みを進めてまいります。

高齢者教育につきましては、各地区の老人クラブなどと連携を図り、参加者の生きがいを高めるような学習機会を提供してまいります。

成人教育につきましては、児童生徒の健全育成を支え、町民の心豊かな暮らしにつながるようコミュニティ・スクールをテーマとした研修会を実施してまいります。

青年・女性教育につきましては、各団体の活動を支援し、活性化を図るとともに、青年や女性が集い学びあうための連携事業を推進してまいります。

郷土館活動につきましては、郷土資料の収集と保存・整理に努め、学習機会提供の充実を図ります。様子山道の国の史跡指定に向けては、2力年にわたる調査結果の報告書を作成し、文化庁に対し意見具申を行います。様子郷土館は、本年、開館50周年を迎えることから、これまでの遺跡調査で発掘された出土

品等の特別展を開催し、埋蔵文化財への理解と関心を高めていた、たく取り組みと、重要文化財指定の蝦夷三官寺三市町の「様似町、厚岸町、伊達市」による活用や普及を図るための連携事業の検討を進めてまいります。

アイヌ文化の振興につきましては、専門職員を配置した中で文化保存団体の活動を支援し、アイヌ文化を後世に伝え、また内外に広く紹介できるよう取り組みを進めてまいります。

芸術・文化活動につきましては、文化協会等の各団体に対し活動の支援を行うとともに、公民館のギャラリー等の施設を活かしたミニ美術展を開催し、児童生徒の情操教育や町民の文化振興を図ってまいります。

図書館について

平成29年度に開館25周年を迎えることから、記念事業としての紙芝居公演や原画パネル展などを開催するとともに、すべての子どもたちがあらゆる機会や場所において、自主的に読書活動ができる環境づくりを図るという「様子町子ども読書活動推進計画」の基本理念に基づき、

学校連携図書システムの効果的な利用を推進し、「読み聞かせ活動」や各種団体への貸出などを積極的に実施してまいります。また、様子町の文化・歴史やアポイ岳世界ジオパーク関連資料などの地域資料を後世に継承するための収集活動を推進し、町民一人ひとりの生涯学習のための情報提供・支援に努め、時代に即した図書館をめざしてまいります。

体育・スポーツの推進

町民が生涯にわたり、健康で生き生きと過ごせるよう各年代層における充実したスポーツ活動の機会の提供に努めてまいります。

青少年スポーツでは、生活や学習に対する意欲や気力の充実のためにも体力・運動能力の向上が重要であることから、スポーツ少年団の育成支援や各種スポーツ教室の開催を通じ、技術やマナーの習得、スポーツへの親しみと生活化を推進してまいります。

成人スポーツにつきましては、スポーツ施設の利用率からも、

スポーツや健康づくりへの関心の高さがうかがえることから、様々なプログラムの提供や各種団体による事業及び組織運営への支援をしてまいります。高齢者スポーツにつきましては、18年目を迎える「ヤングシニアスクール事業」を通じ、「生涯スポーツの町」にふさわしい元気と活力のある高齢者でいていただくためのサポートを行うてまいります。

各スポーツ施設につきましては、利用者が安心してスポーツ活動に取り組めるよう拠点となるスポーツセンターの安全対策を実施するとともに、学校開放

■社会教育の推進…主な取り組み

▼社会教育事業

- …少年教育～地域の教育資源を活かした体験活動、学校・家庭・地域連携協力推進事業の充実
- …青年・女性教育～各種連携事業を推進
- …成人教育～コミュニティ・スクール研修会の実施
- …高齢者教育～老人クラブなどと連携を図り、学習機会を提供

▼アイヌ文化の振興、芸術・文化活動

- …専門職員を配置し文化保存団体の活動を支援
- …ミニ美術展を開催、文化協会等の各団体の活動を支援

▼郷土館活動

- …遺跡調査発掘出土品等の特別展を開催
- …蝦夷三官寺連携事業の検討

▼図書館

- …開館25周年記念事業を開催
- …学校連携図書システムの活用
- …読み聞かせ活動・団体貸出を実施

▼体育・スポーツの推進

- …少年団の育成支援、各種教室の開催
- …各種団体事業・組織運営の支援
- …ヤングシニアスクール事業を通じた高齢者の健康サポート
- …スポーツセンターを拠点とするスポーツ活動、学校開放事業、小学校プールの開放

以上、平成29年度の教育行政の各分野における主要な方針を申し上げます。今後、様々な教育課題にスピード感と緊張感を持って全力で取り組むとともに、学校や保護者をはじめ、関係機関・団体などと連携を図りながら、子どもの未来を育む学校教育並びに豊かな心と文化を育む社会教育



様子町発祥のテニポン

事業においては、各団体による有効活用を推進し、引き続き小学校プールの開放を実施するなど、町民が取り組みやすいスポーツ環境の充実に努めてまいります。

以上、平成29年度の教育行政の各分野における主要な方針を申し上げます。今後、様々な教育課題にスピード感と緊張感を持って全力で取り組むとともに、学校や保護者をはじめ、関係機関・団体などと連携を図りながら、子どもの未来を育む学校教育並びに豊かな心と文化を育む社会教育

のさらなる充実をめざし、町民の期待と信頼に応えられる教育行政を推進してまいります。町議会議員の皆様並びに町民の皆様のご理解とご協力を心からお願い申し上げます。平成29年度の教育行政執行方針といたしま